

# 第57期 中間報告書

2017年3月1日～2017年8月31日



青森県八戸港の鯖水揚げ



※JR北海道様ご提供



# グループ紹介



## 八ヶ岳連峰経営について

お客様との距離を短く保ちながら、スピーディな経営判断を実現するため、アークスグループは富士山のように高くそびえる大きな一つの企業体ではなく、八ヶ岳連峰のように同じような高さの山々が連なる企業連合を目指しています。



## グループ理念

アークスグループは、地域のライフラインとして  
価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。

グループ理念は、アークスグループがどのような領域で、どのような使命を持ち、目標を果たすのかを明確にしたもので、私たちが活動するうえでの考え方の基本となるものです。

## グループ運営方針

- ① お客様第一主義の徹底
- ② 「八ヶ岳連峰経営」による運営
- ③ 健全な経営と着実な成長
- ④ ロープライス、ローコストの追求
- ⑤ 情報の公開とコンプライアンス



# ご挨拶

私たちアークスグループは、2002年11月より「八ヶ岳連峰経営」のもと、北海道および東北地方のグループ各社と共に、地域に密着した食品スーパーマーケットを中心とした流通企業グループとして、着実に成長を続けてまいりました。

2017年は「全員参加経営 システム統合を軸に 地域創成の中心核となり WIN<sup>6</sup>を推進する」を年頭方針として掲げ、様々な事業環境の変化に対応しながら、地域シェアの拡大と企業価値の向上に努めてまいりました。

これからも、「アークスグループは、地域のライフラインとして価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。」というグループ理念のもと、今期の最重要課題でありますシステム統合基盤構築プロジェクトを推進し、業界標準たるシステムプラットフォームの構築に向け、グループ内外の知見を投入すると共に、過去にとらわれない業務改革及び組織改革の断行を目指したトランスフォーメーション計画においては、具体的な施策である商流改革及び物流改革、後方業務の統一など、目に見える効果を生み出すべく、新たな業務体制構築に注力しております。

株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役会長  
三浦 紘一

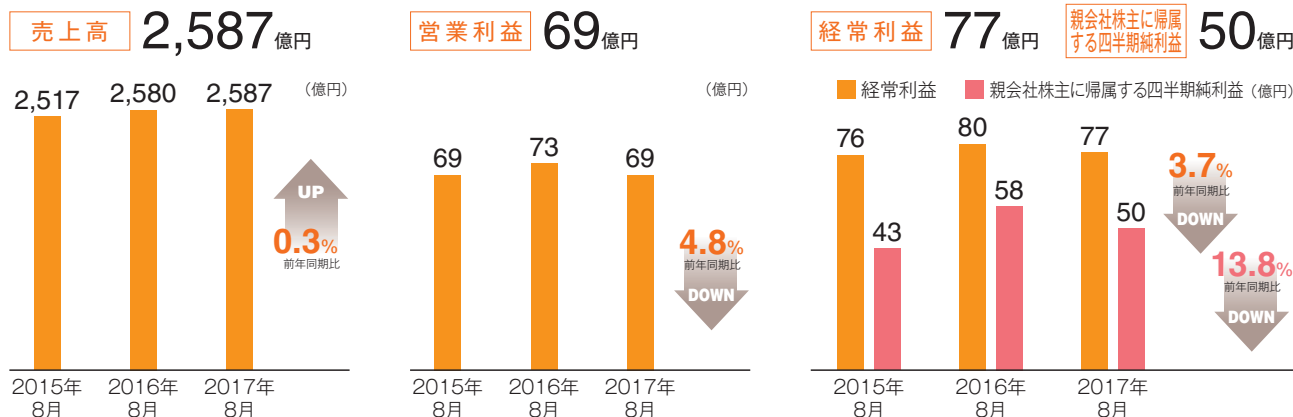


代表取締役副会長  
福原 朋治



代表取締役社長  
横山 清

## 第2四半期業績推移





代表取締役社長  
横山 清

# 全員参加経営システム統合を軸に 地域創成の中心核となりWIN<sup>®</sup>を推進する。

平成27年 社長横山清 

Q.1 今年度上半期を振り返って、どのような状況でしたか。

## A.1 厳しい経営環境であったが、過去最高の売上高で、増収を確保。

今年度の上半期は、政府の景気判断は上方修正され、個人消費は「緩やかに持ち直している」と表現されていますが、家計における節約志向は根強く、消費の伸び率はバブル期の十分の一以下とも言われております。また、人件費の増加や人手不足も業績に影響を及ぼし、小売り各社は厳しい状況に置かれております。

そのような厳しい状況のなかでも、当社グループは、様々な事業環境の変化に対応しながら、地域シェアの拡大と企業価値の向上に努め、新規出店をするとともに、業態変更も含めた店舗改装に注力し、既存店の活性化を進めてまいりました。その結果、地域のお客様にしっかりとご支持をいただき、過去最高の売上高を達成、増収を確保いたしました。

Q.2 「システム統合基盤構築プロジェクト」の進捗を教えてください。

## A.2 業界標準たるシステムプラットフォームの構築に向け、 来期の稼働に向けた準備を進めております。

私たちは、「全員参加経営 システム統合を軸に 地域創成の中心核となり WIN<sup>®</sup>を推進する」という年頭方針を掲げ、業界標準たるシステムプラットフォームの構築に向け、グループ内外の知見を投入すると共に、社外関係者向けの説明会を実施するなど、来期の稼働に向けた準備を進めております。

また、過去にとらわれない業務改革および組織改革の断行を目指したトランスフォーメーション<sup>(※)</sup>計画も合わせて実施し、具体的な施策である商流改革および物流改革、後方業務の統一など、目に見える効果を生み出すべく、新たな業務体制構築に注力しております。

(※)元来は、物体や構造が変質すること。転じて、企業経営において、事業構造・業務プロセスの大幅な改革を行うことを指します。

通期見直し	売上高	5,200 億円	1.4% UP ↑	経常利益	168 億円	2.0% UP ↑
	営業利益	151 億円	1.7% UP ↑	親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円	4.7% DOWN ↓

## 2017年4月27日「Da\*マルシェ沼田店」、 2017年7月21日「ユニバース十和田西店」オープン!!

当社子会社である(株)道北アークスが「Da\*マルシェ沼田店」、(株)ユニバースが「ユニバース十和田西店」をそれぞれオープンいたしました。「Da\*マルシェ沼田店」は、総合物流センターである「DaMC」を活用し効率的な店舗運営を行う「Da\*マルシェ」として6店目の店舗であります。これまでの店舗と同様に、お客様の生活になくてはならないお店としてご利用いただけるよう、努めてまいります。「ユニバース十和田西店」は、地元の生産者様持ち込みの野菜をはじめ、地場の商品を豊富に品揃えし、地域密着・鮮度に積極的に取り組みます。健康志向食品の品ぞろえを強化し、お客様の豊かな暮らしに貢献してまいります。



## 店舗の業態変更・改装により、更に地域へ密着したサービスを提供します!!

積極的な店舗の業態変更、改装により、更に地域に密着したサービスを提供いたします。当社子会社である(株)ラルズは、販売力の更なる強化を目的として、旧スーパーチェーンシガの店舗を、「ラルズマート」や「スーパーアークス」として続々とリニューアルし、店

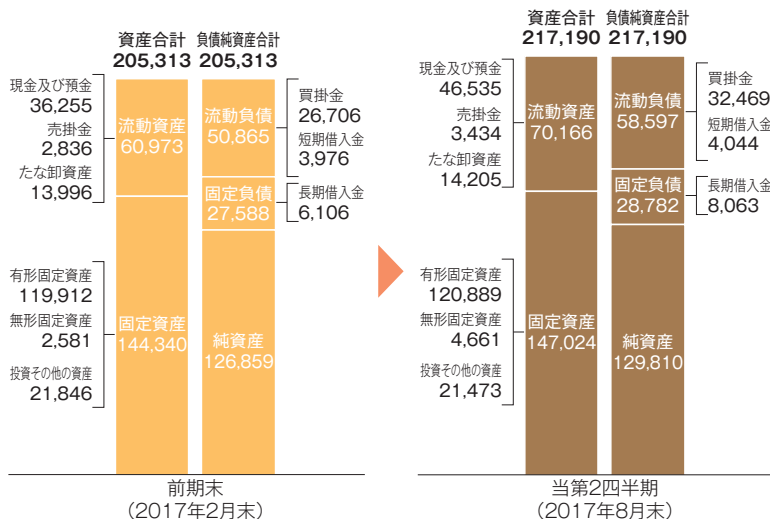


舗の活性化を進めております。また、当社子会社の(株)福原が「フクハラ愛国店」を、(株)道南ラルズが「ビッグハウスアドマー二」を、その他にも各事業会社が、店舗の改装を進めております。業態変更と合わせ、グループでは合わせて11店舗の改装を実施いたしました。各店とも、更に便利なお店に生まれ変わり、地域のお客様の豊かな生活に貢献できる店舗を目指してまいります。

# 連結財務諸表概要

Consolidated financial statements summary

## 第2四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



### 連結貸借対照表のポイント

総資産2,171億90百万円(対前期末比5.8%、118億77百万円増)  
負債873億80百万円(対前期末比11.4%、89億26百万円増)  
純資産1,298億10百万円(対前期末比2.3%、29億50百万円増)  
⇒自己資本比率59.7%(対前期末比2.1ポイント減)

#### <主な要因>

- 現金及び預金が102億79百万円増、無形固定資産が20億80百万円増
- 買掛金が57億62百万円増、短期借入金及び長期借入金が20億24百万円増
- 利益剰余金が36億58百万円増、自己株式が7億37百万円増

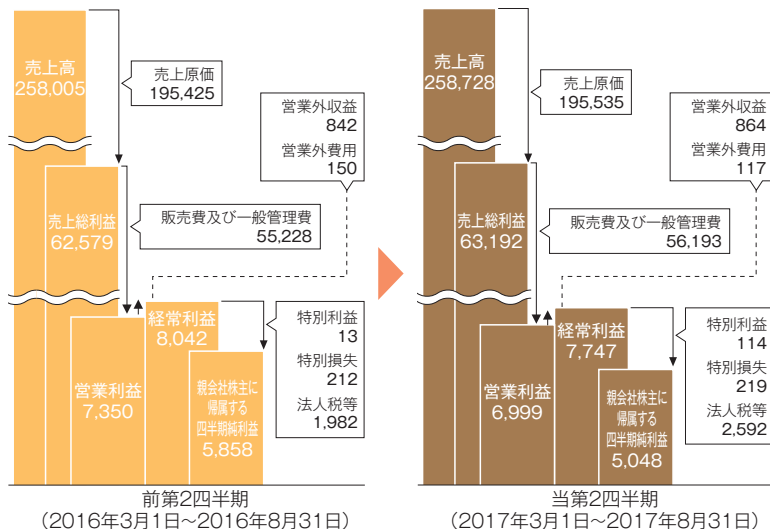
### 連結損益計算書のポイント

売上高2,587億28百万円(対前年同期比0.3%、7億22百万円増)  
営業利益69億99百万円(対前年同期比4.8%、3億51百万円減)  
経常利益77億47百万円(対前年同期比3.7%、2億95百万円減)  
親会社株主に帰属する四半期純利益50億48百万円(対前年同期比13.8%、8億10百万円減)

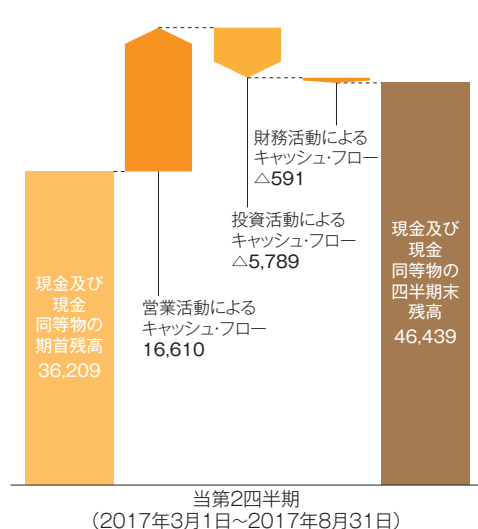
#### <主な要因>

- 新店効果等による増収。
- 売上総利益率が改善したものの、人件費や租税公課増に伴い販管費が増加したことにより、売上高営業利益率が低下。
- 前年同期は(株)ベルジョイスの繰延税金資産の回収可能性の見直し等により法人税等の負担が減少したものの、当期は法人税等負担率が平常化したことにより、法人税等が増加したことによる減益。

## 第2四半期連結損益計算書の概要 (百万円)



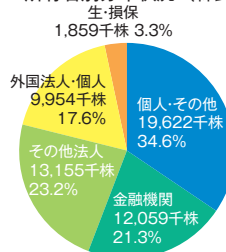
## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



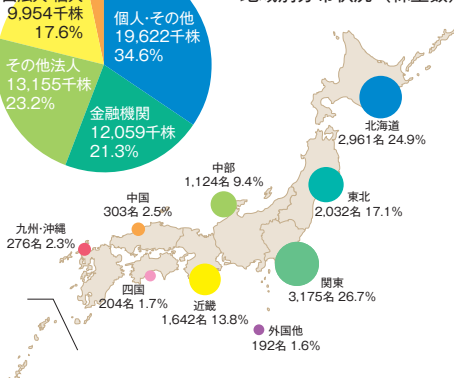
## 会社概要

- 商号 株式会社アークス
- 設立 1961年10月28日
- 資本金 200億円
- 証券コード 9948
- 店舗数 337店舗  
(グループ全体、  
2017年8月31日現在)
- 従業員数 139名  
(グループ全体19,781名、  
2017年8月31日現在)
- 本社 〒064-8610  
札幌市中央区南13条西11丁目2番32号
- 事業内容 純粋持株会社  
(国内外の会社の株式または持分を取得、  
所有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理する)

### ●所有者別分布状況(株式数)



### ●地域別分布状況(株主数)



### ●役員(2017年9月1日現在)

- |           |        |
|-----------|--------|
| 代表取締役会長   | 三浦 紘一  |
| 代表取締役副会長  | 福原 朋治  |
| 代表取締役社長   | 横山 清一  |
| 取締役常務執行役員 | 古川 公一  |
| 取締役執行役員   | 六車 亮樹  |
| 取締役執行役員   | 小苺 米秀  |
| 取締役執行役員   | 福原 郁樹  |
| 取締役執行役員   | 井上 浩一  |
| 取締役執行役員   | 澤田 司久  |
| 取締役執行役員   | 猫宮 一久  |
| 社外取締役     | 佐伯 亮浩  |
| 社外取締役     | 佐々木 幸博 |
| 社外取締役     | 佐々木 幸博 |
| 社外取締役     | 児玉 勝智  |
| 社外取締役     | 高嶋 和謙  |
| 社外取締役     | 伊東 山部  |
| 執行役員      | 増山 阿部  |
| 執行役員      | 阿部 修   |

## 株式の状況(2017年8月31日現在)

- 発行可能株式総数 200,000,000株
- 発行済株式の総数 56,650,468株
- 株主数 11,910名(前期末比9,315名減)

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
横山 清一	3,028,054	5.47
株式会社北海道銀行	2,527,072	4.57
有限会社丸治	1,437,131	2.59
株式会社北洋銀行	1,399,144	2.53
株式会社謙徳	1,377,619	2.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,307,700	2.36
株式会社みま	1,152,102	2.08
アークスグループ社員持株会	1,070,698	1.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,066,600	1.92
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE HCR00	1,059,800	1.91

(注) 持株比率は自己株式(1,370,210株)を控除して計算しております。

## 株主優待

日頃よりご支援いただいております株主の皆様へ、感謝の気持ちを込めて「株主優待制度」を実施しております。毎年2月末現在の株主様に対し、ご所有株式数に応じて当社グループ商品券、全国共通商品券VJAギフトカード、アップルジュース、青森県産りんごの4種類から一点とカタログギフトを贈呈しています。

※送付時期は、りんごのみ12月上旬、その他は7月中旬の予定です。

所有株式数	ご優待① or ②	ご優待③	ご優待④	ご優待⑤
100~499株	2,000円分	1箱	約3kg	
500~999株	3,000円分	2箱	約5kg	
1,000~4,999株	4,000円分	2箱	約5kg	3,000円相当
5,000株以上	5,000円分	2箱	約10kg	3,500円相当

※実際の優待品は写真と異なる場合がございます。

ご優待①~④はいずれかおひとつお選びいただけます。

#### ご優待①

アークスグループ商品券



#### ご優待②

VJAギフトカード



#### ご優待③

アップルジュース



#### ご優待④

青森県産りんご



#### ご優待⑤

カタログギフト





## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	毎年2月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	毎年2月末日
剰余金の配当	毎年2月末日
中間配当	毎年8月31日
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス <a href="http://www.arcs-g.co.jp/">http://www.arcs-g.co.jp/</a> ただし、電子公告をおこなうことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

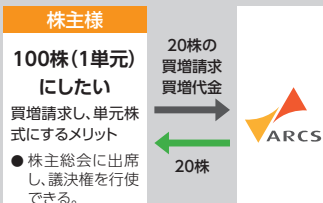
	証券会社等に 口座をお持ち の場合	証券会社等に 口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先	お取引の 証券会社等 になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法の 変更等)	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金の お支払	上記お取扱店に加え、 みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	配当金の支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買増・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続をおこなっていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

## 単元未満株式の買増・買取制度について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1～99株)については市場で売買はできませんが、当社に対して100株(1単元)となるよう買増請求(購入)することができます。または単元未満株式を当社に対して買取請求(売却)することができます。

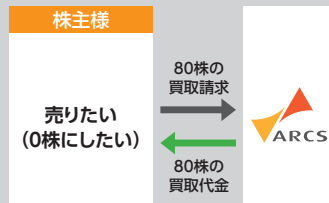
### 1.買増請求(購入)の場合

例:株主様が80株を所有している場合



### 2.買取請求(売却)の場合

例:株主様が80株を所有している場合



- 証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。
- それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-288-324 (平日9:00～17:00)

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9948




空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

※アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp/>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



本社 〒064-8610 札幌市中央区南13条西11丁目2番32号  
TEL 011-530-1000 FAX 011-530-1010  
<http://www.arcs-g.co.jp>

